



▲華やかに盛り上がった盆踊り大会



▲子どもたちが一生懸命作ったみこし

地域の話題

野田校区

人と地域と自然をつなげるまちづくり

「和」「輪」「環」と笑顔で明日を創る、田原のド真ん中「野田校区」。
今年で15回目となる「野田夏まつり」について、
野田校区「コミュニティ協議会」からお便りが届きました。

野

田校区では、「和」が平面に
広がって「輪」となり、さら
に立体的に広がって「環」となって
大調和につながり、『わ、わ、わ』
と笑い声が絶えない明るく住みよい
まちを将来像に、まちづくりを進め
ています。

今年も大盛り上がり！

8月6日（土）、サンテパルクた
はらで「第15回野田夏まつり」を開
催しました。当日は天候に恵まれ、
とても暑い日となりましたが、老若
男女問わず多くの方が参加して、大
変にぎやかな祭りになりました。

サンテドームをメイン会場に、「盆
踊り大会」「子どもみこし」「野田の
市」「ビンゴ大会」「手筒花火」「打
ち上げ花火」などを催しました。

「盆踊り大会」では、浴衣で素敵
な踊りを披露していただいた方や子
どもに賞を贈るなどして、華やかに
盛り上げることができました。

「子どもみこし」では、13地区の
子ども会が4つに分かれ、一生懸命
作った自慢のキャラクターをみこ
しに乗せ、「ワッショイ！ワッショ
イ！」とドーム内を練り歩きました。

「野田の市」では、ボランティア
の手による16店舗が立ち並び、大変
にぎわいました。今年は、東日本大
震災の被災地である福島県から、農
家の方が桃の直販に訪れるなど、新
たな交流も生まれました。

「手筒花火」では、有志たちの厄
払いの願いをのせて、火の粉とともに
轟音が野田の夜に響き渡り、観客
たちの歓声をあびていました。

自分たちの手で地域づくり

かつての青年団主体の盆踊り大会
は、団の解散で開催できなくなりま
した。そこで、校区行事として、平
成9年から「野田夏まつり」を開催
しています。地域の担い手となる40
〜42歳の男性が実行委員の中心とな
り、地域の協力を得ながら、4月か
ら準備を進める手作りの祭りです。
地域づくりは、行政との連携が必
要なこともあります。人と人との
つながり、人材育成などは地域で率
先して行おうべきものと思います。

野田校区は、人の結びつきが強い
校区と感じています。「野田夏まつ
り」をはじめとする各種行事により、
地域の『わ』がより強く確かなもの
となるよう、地域づくりに取り組ん
でいきたいと思っています。

